

# 平成 26 年度学校教育自己診断

## 結果概要および来年度の取組について

吹田市立第二中学校  
校長 大江 慶博

早春の候、保護者の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より本校教育活動にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、1月に実施いたしました学校教育自己診断（アンケート）の集計結果がまとまりました。ここでは、結果の概要ならびに来年度の本校の取組についてご説明をさせていただきます。

### ◇生徒・保護者アンケートから見えてくるもの

#### 生徒アンケートより

肯定的評価が顕著に伸びた項目は、今回のアンケートではありませんでしたが、質問項目32のうち、特に評価が高かった項目（肯定的評価70%以上）は13項目ありました。特に評価が高かった項目は「通知票の成績の付け方は納得できる」が82%、「いじめや暴力には、よく対応してくれる」「秘密を守ってくれる」「先生はよく意見を聞いてくれる」が77%で、「学校行事は工夫されている」「授業はわかりやすい」が75%となりました。しかし、肯定的評価が下がった項目は「豊かな心のあり方を学習している（道徳）」が15ポイント減、「将来の生き方について考える授業がある」や「命の大切さを学ぶ機会が多い」が14ポイント減という結果でした。

#### 保護者アンケートより

肯定的評価が伸びた項目は、質問項目31のうち19項目で、特に評価が高かった項目（肯定的評価70%以上）では16項目が増加しました。特に評価が高かった項目は「学校が保護者に出す文章・事務連絡は適切である」が91%、「子どもに関するプライバシーが守られている」が90%、「学校は地震や台風時の行動時のマニュアルが徹底している」が88%となりました。しかし、肯定的評価が下がった項目は、「子どもは積極的に部活動に参加している」が7ポイント減、「学校は保護者・地域の願いに応えてくれる」が6ポイント減、「学校は環境・国際理解・新教育課題を学ばせている」が4ポイント減という結果でした。

第二中学校では、皆様方から頂戴しましたご意見を真摯に受け止め、子どもたちの笑顔があふれ、保護者や地域のみなさまから信頼される学校を目指して取組を進めて参ります。教職員一同力をあわせて頑張る参りますので、ご理解、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

## ◇課題に対する具体的な取組

### ・いじめや暴力のない学校づくり

日ごろより「ゆるぎない学校規律・授業規律」を示すとともに、生徒の人間関係の把握に努め、生徒会の主体的な活動を通じ「いじめや暴力行為を許さない仲間づくり」を進めます。また、いじめや暴力行為が生じた際は、全教職員チームを組み、組織的かつ毅然とした態度で指導するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を密にするなど、生徒たちのケアを第一に考え、今後もさらにきめ細かい指導を行っていきます。

### ・人権教育の推進

新教育課程実施に伴い、総合・道徳・特活および各教科の連携をさらに図るとともに、福祉体験や職業体験などの体験学習やキャリア教育を中心とした人権教育を推進し、子どもたち一人ひとりの人間性を高める学習の展開に努めます。日常生活の中でも、仲間に対してやさしい言葉をかけていくよう、子どもたちの心を育てていきます。

### ・魅力ある授業づくり

子どもたちが「基礎的・基本的な力」を基盤とした「聴く力」「伝える力」を体得するために、教職員同士の「学びあい」の場を設け、指導力向上のための授業研究を実施するなど、さらなる授業改善の取組を進めていきます。

### ・自分で考え、行動できる子どもたちの育成

授業においては、講義形式の受け身の授業にとどまらず、自ら課題を発見し、解決していくことができる授業のあり方を追求していきます。英語、数学においては習熟度別少人数指導の充実を図り、ICT機器の活用等、一人ひとりの子どもたちを大切にすきめの細かい指導を充実させていきます。また、本校の柱の一つでもある、生徒会活動の一層の活発化を図り、子どもたちが自らの義務を果たしながら、意見を述べ、学校生活を改善していけるよう支援していきます。

### ・美しい学校づくり

第二中学校がどこよりも美しいと子どもたちが胸をはれる学校をめざし、破損箇所の修理、清掃活動の徹底に取り組みます。生徒会が行っているクリーン（9リーン）作戦に力を入れるとともに、教職員の指導のもと、子どもたち全員で取り組みます。

### ・学校情報（学習内容、進度を含む）の発信

学校だより、学年だより、学級通信等の充実を図るとともに、ホームページの内容の拡充も図っていきます。